

平成29年度事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日)

第1 平成29年中の犯罪情勢

1 刑法犯認知件数と検挙状況

平成29年中は、県、警察、各市町村、地区防犯協会、防犯ボランティア団体等と緊密に連携した防犯対策を実施した結果、本県の刑法犯認知件数は42,126件(前年比-4,493件、-9.6%)で15年連続して減少し、ピーク時(平成14年16万8,190件)の約4分の1を達成することができた。

また、検挙率も平成27年以降3年連続で増加し、平成29年は39.1%で前年より0.8%増加している。

2 県警察の重点対象犯罪認知件数等

平成29年の重点課題対策である性犯罪、住宅対象侵入盗等身近な犯罪は減少したもののニセ電話詐欺は認知件数、被害額とも大幅に増加した。

○ 性犯罪 () 前年比

	強制性交等罪	強制わいせつ	合計
H28	56件(-26)	379件(-113)	435件(-139)
H29	90件(+34)	321件(-58)	411件(-24)

○ ニセ電話詐欺 () 前年比

	認知件数	被害額
H28	352件(-145)	6億6,524万円(-11億7,822)
H29	597件(+245)	11億4,263万円(+4億7,739)

○ 街頭犯罪等 () 前年比

	強盗	空き巣	忍込み	居空き
H28	78件(-16)	1642件(-583)	591件(-874)	420件(+212)
H29	86件(+8)	1775件(+133)	553件(-38)	118件(-302)

	自転車盗	バイク盗	自動車盗	車上ねらい	部品ねらい	自販機	ひったくり
H28	10,552件	1,850件	188件	2,265件	818件	1,234件	100件
H29	9,468件	1,132件	186件	2,443件	849件	411件	104件
前年比	-1,084	-718	-2	+178	+31	-823	+4

3 少年非行情勢

刑法犯少年の検挙補導人員、不良行為少年の補導人員は年々減少しているもののコミュニティサイトに起因する事犯が増加している。

○ 刑法犯少年検挙補導人員～1,941人(前年比-565人)

○ 非行者率(10歳から19歳までの少年人口1,000人あたりに刑法犯少年が

占める割合)～4.1人(前年比-1.1人)、全国平均3.0人

- 不良行為少年の補導人員～45,459人(前年比-13,300人)
- 児童買春・児童ポルノなどコミュニティサイトに起因する事犯の被害児童の推移
平成27年～79人、平成28年～97人、平成29年133人
- サイバー補導(コミュニティサイトで援助交際を求める等の書き込みをした少年と会って指導や助言等を行う補導方法)の推移
平成27年～12人、平成28年～163人、平成29年～204人

4 薬物乱用情勢

全体的には減少しているものの全国的に大麻事犯の検挙が増加している。

- 薬物事犯の検挙人員～855人(前年比-86人)
- 特徴的傾向
 - ・覚醒剤事犯の検挙人員～613人(前年比-95人)、全体の約7割
 - ・危険ドラッグ等の指定薬物事犯の検挙人員～28人(前年比-12人)
 - ・大麻事犯の検挙人員～186人(前年比+31人)で、年々増加
- 乱用者の特徴～覚醒剤事犯は中高年層、大麻事犯は若年層の割合が大きい。

5 暴力団情勢

県内の暴力団は、5代目工藤會、道仁会、太州会、三代目福博会、浪川会、六代目山口組、神戸山口組があり、平成26年9月以降の工藤會に対する「頂上作戦」を契機として、暴力団構成員等の総数は減少傾向にある。

- ・県内の準構成員を含めた暴力団構成員数～2,040人(前年比-200人)

第2 協会運営

1 総会

(1) 定時総会

平成29年度の定時総会は、同年6月8日、福岡市博多区「博多サンヒルズホテル」において開催し

- ・北九州市の人事異動に伴う新理事の選任、柳川市とみやま市の防犯協会統合による西原理事の選任
- ・西原理事選任に伴う後任監事の欠員

及び平成28年度の事業報告、収支決算、財産目録等について審議、承認された。

(2) 総会の決議の省略

専務理事の辞任に伴う後任理事について、一般法人法及び定款に定める総会の「決議の省略」に基づき平成30年3月22日書面決裁により選任された。

2 理事会

(1) 第1回理事会(決算等)

平成29年5月11日、同「博多サンヒルズホテル」において開催し、定時総会に付議する理事・監事の選任及び平成28年度の事業報告、収支決算、財産目録等について審議、承認された。

(2) 第2回理事会(予算等)

平成30年3月12日、同「博多サンヒルズホテル」において開催し、平成30年度の事業計画、収支予算、「専務理事の辞任に伴う後任理事の選任及びこれに関する臨時総会招集開催の承認」及び定時総会開催日等について審議、承認された。

3 その他の協会運営

- 平成29年度の理事の業務執行状況等については、平成30年4月に監事による監査を受け、平成30年5月8日 監査報告書を作成した。
- 県行政庁に対する定期提出書類の提出を実施した。
- 主要（出席）行事については、地区防犯協会職員研修会等を実施した。

第3 防犯対策事業

1 重点課題対策の推進

県警察の平成29年度の重点課題対策である

- ・ 性犯罪の被害防止
- ・ ニセ電話詐欺の被害防止
- ・ 身近な犯罪の抑止

は、警察本部生活安全総務課、地区防犯協会と協働して「チカン防止、ニセ電話詐欺被害防止啓発活動」等のチラシ配布や防犯グッズの作成、配布、広報紙「防犯ふくおか」への掲載等の活動を実施した。

2 地域安全活動の推進

(1) 全国地域安全運動の実施

10月11日から20日までの全国地域安全運動期間中、ラジオ（RKB・KBC）2局で防犯情報のスポット放送や同放送のUSB等音響媒体を各地区協会に配付しての広報、防犯ポスター等の掲示、地区協会における推進大会の開催など地域に密着した広報啓発活動等を実施した。

(2) 「安全・安心まちづくり県民の集いふくおか」の開催

10月7日、全国地域安全運動の一環として福岡市中央区「エルガーラホール」において、県、県警察と共催し、約600人の参加を得て、防犯功労者等の表彰、学生や防犯ボランティアによる「今のあなたにできる防犯活動」をテーマに今後の防犯ボランティア活性化についてのパネルディスカッション、キッズチアリーディングチームによるステージパフォーマンス、ホールにおいては青パトの写真・ポスター・標語入選作品を展示するなど情報発信と広報啓発を実施した。

(3) 地域に密着した地域安全活動の推進及び支援

入学期、夏休み期間、年末年始等の季節の特性に応じた犯罪抑止、年金支給日等ニセ電話詐欺が多発する時期における被害防止啓発活動等、県警察や地区防犯協会と連携したキャンペーン等を実施した。

(4) 防犯ボランティア地域交流会の開催

11月21日、飯塚コミュニティセンターにおいて、筑豊地区7防犯協会と共催し約90人の参加を得て、同地区で活動する防犯ボランティア、学生防犯ボランティア団体の活動紹介及び意見交換会を行い団体間の連携強化と活動の活性化を図った。

(5) 学生防犯ボランティアの活動支援

若年層の防犯ボランティアの育成と自主活動を促進するため県警察と協働して「学生防犯ボランティア活動促進事業」を実施しており、学生防犯ボランティア28団体中12団体に対し活動促進費を交付し、活動が優秀であった2校を「県民の集い」で表彰した。

また、12月9日～10日、宗像市グローバルアリーナにおいて、県警察が開催した「学生防犯ボランティアサミット2017」を後援した。

(6) 青パトを保有する防犯ボランティアの活動支援

青パトを活用した防犯パトロール活動の活性化を図るため

- ・青パト申請時に「青色回転灯」20個を提供

(平成19年度から実施 平成29年度末累計358個)

- ・県警察との協働による石油販売店による青パト支援事業を継続推進

(平成25年度から実施 平成29年度末15事業者、98店舗)

し、全防連から寄贈された青色回転灯装備車両を直方地区防犯協会へ配備した。

3 広報啓発活動の推進

(1) 広報紙「防犯ふくおか」の発行

県民に犯罪の発生状況や防犯対策、各地区の防犯協会や防犯ボランティア団体の活動等の情報を提供するため「防犯ふくおか」を毎月約14.6万部、年間約175万3,000部発行した。

※ 昭和30年創刊～平成30年3月で通算748号

(2) 各種広報媒体の活用

新聞紙面による少年非行防止・健全育成啓発活動、ラジオ広報による全国地域安全運動、年末年始特別警戒活動、JR博多駅でのデジタル掲示板による自転車防犯登録促進活動を実施した。

(3) 広報啓発資料等の作成配布

広報啓発資料としてチラシ、ポスター、リーフレット等、また資材として防犯ブザー、ワイヤーロック、ウェットティッシュ、のぼり旗等を作成し、各種防犯活動に活用した。

4 表彰

10月7日開催の「安全・安心まちづくり県民の集いふくおか」及び各地区防犯協会において、防犯功労者・団体及びモデルポスター・標語入選者等158名・26団体に対する表彰及び表彰の伝達を行った。

(1) 防犯功労者（個人・団体）

ア 全防連表彰

○防犯荣誉金章 5名 ○防犯荣誉銀章 10名 ○防犯荣誉銅章 30名

○防犯功労団体 1団体 ○功労防犯ボランティア団体1団体

イ 九防連表彰

○防犯功労者 12名 ○防犯功労団体 2団体

ウ 県防連表彰

○防犯功労者 52名 ○防犯功労団体 20団体

(2) 学生防犯ボランティア団体表彰 2団体

(3) 全国地域安全運動モデルポスター・モデル標語

(応募総数：ポスター422点、標語3,496点)

○ 県防連表彰

・ ポスター（一般の部）

最優秀賞 1名 優秀賞 2名 佳作 3名

・ ポスター（小・中・高校生の部）

最優秀賞 3名 優秀賞 6名 佳作14名

・ 標語（一般の部）

最優秀賞 1名 優秀賞 1名 佳作 4名

・ 標語（小・中・高校生の部）

最優秀賞 3名 優秀賞 3名 佳作 8名

5 少年の非行防止及び健全育成活動の推進

(1) 少年の非行・被害防止活動

県警察、地区防犯協会及び防犯ボランティア団体等を通じて、少年補導員、防犯指導員等に対する活動支援や広報資料の作成・配布等を行った。

(2) 少年の健全育成活動

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」（7月中）に協賛したほか、福岡県少年非行防止大会（7月）、薬物乱用防止キャンペーン（9月）、万引き防止啓発キャンペーン（11月）に対する協力・支援を行った。

また、県警察が主催する少年柔・剣道合宿研修及び県が主催する青少年囲碁大会などのスポーツ・文化事業に対する後援として助成を行った。

6 自転車防犯登録事業の推進

(1) 防犯登録の普及状況

防犯登録台数は、平成25年の29万台をピークに年々減少し、平成29年度も減少した。

年度別	登録台数(台)	同 期 比
平成27年度	270,405	
平成28年度	260,938	-9,467
平成29年度	254,178	-6,760

(別表4「平成29年度 自転車防犯登録実施状況」参照)

(2) 登録料等の改正及び関係規程の整備

平成29年度は、自転車防犯登録料・登録有効期間の改正を行ったが関係規程の整備と円滑な移行手続きのための教養資料を作成し、地区協会職員に教養するとともに防犯登録所である量販店及び小売店等への協力依頼と指導を行ったほか、県警察と連携して交番への浸透を図った。

(3) 自転車の盗難被害防止活動

自転車盗の被害防止や被害の早期回復のため、地区防犯協会や防犯ボランティア団体等による防犯パトロール等の活動を支援し、また、自転車利用者に対しては、広告等による啓発活動及びチラシを配布して防犯登録制度の周知・徹底及び防犯登録の促進を図り、自転車の盗難防止対策を推進した。

(4) 放置自転車等対策への協力・支援活動

放置自転車や違法駐輪の問題解消のため、県警察及び自治体等関係機関との協力支援の強化を図り、放置自転車等の早期返還に努めた。

(5) 自転車防犯登録所（店）に対する指導・表彰

防犯登録を迅速適切に実施するため、自転車防犯登録所（店）に対する業務指導を実施し防犯登録手続きの迅速、適正化を図った。

また、防犯登録に功労（平成28年度）のあった自転車防犯登録所（店）48店舗に対して感謝状を贈呈した。

第4 風俗環境浄化事業

1 県公安委員会からの受託事業

(1) 風俗営業管理者講習

風俗営業管理者として必要な法令・知識について講習を実施した。

○ 定期講習

年度別	回数	受講者(人)	増減(人)
平成27年	21	945	
平成28年	21	1,042	+97
平成29年	21	1,022	-20

○ 処分者講習

年度別	回数	受講者(人)	増減(人)
平成27年	1	8	
平成28年	1	6	-2
平成29年	1	6	±0

(2) 調査業務

風俗営業許可申請等にかかる営業所の場所及び構造設備等に関する調査を実施した。

○ 風俗営業許可申請

年度別	調査数(件)	増減(件)
平成27年	428	
平成28年	376	-52
平成29年	363	-13

○ 風俗営業変更承認申請

年 度 別	調査数(件)	同期比
平成27年	64	
平成28年	51	-13
平成29年	37	-14

2 調査員研修会

6月17日、福岡市博多区「博多サンヒルズホテル」において、調査員（10名）に対する調査業務の適正な処理等についての定期研修会を開催し、警察本部生活保安課担当者等による研修を行った。

3 少年指導委員の活動に対する支援

風俗環境浄化活動の一環として風営店への立ち入り権限を有し、少年の健全育成活動に取り組んでいる少年指導委員の活動に対する協力・支援を行った。

第5 AMマーク貼付事業

1 遊技業の健全化促進

「地域防犯協賛機」であることを表示するAMマークの貼付事業を推進し、営業者に適正・健全営業の自覚を促すとともに、不正遊技機の排除に努めた。

2 遊技場への立入検査

福岡県遊技業協同組合など5団体で構成する「福岡県不正防止対策機構」の一員として遊技場に対する立入検査を実施し、不正遊技機の発見・排除に努めた。

○ 立入検査の状況

年 度 別	立入回数(回)	立入事業所(店舗)	増 減
平成27年	24	92	
平成28年	24	91	-1
平成29年	24	96	+5

第6 青パトの自動車保険事業の促進

青パト防犯ボランティア団体の経費軽減と地域防犯活動の促進を図るため、平成25年7月1日から開始した青パト自動車保険事業を推進し、平成29年度は2台が加入した。

※平成29年度末の契約台数～18台